

日本の貨物列車 北海道編 正誤および現況解説

日本の貨物列車「北海道編」をお持ちの方にお知らせいたします。発売から5年が経過しましたが、この間、DVDに収録した一部の列車や車両などに大きな変化が見られます。

そこで、このウェブサイト上で、誤ったキャプション(字幕)やナレーションを訂正し、さらにこの間に生じた様々な変化について、その現況をお知らせします。

今後、DVDをご覧いただく際には、下記の内容を参考にしていただいた上で、お楽しみください。

記

【正誤訂正】

1. 第2部 4091レのナレーション

誤 4091列車の中ほどに積まれた黄緑色の廃棄物輸送コンテナの中には、処分される蛍光灯や乾電池が詰まっています。

正 4091列車の中ほどに積まれた黄緑色をしたUM13A廃棄物輸送用コンテナの積荷は、道内から秋田へと向かうシュレッダーダストです。

解説	本州から留辺蘂イトムカ鉱業所へ輸送されていた廃乾電池や廃蛍光灯は、当時、W18D(「〇環：マルかん」と呼ばれるJR貨物の廃棄物輸送コンテナ)を使用していました。
----	----------------------------------------------------------------------------------

2. 第3部や第5部など 字幕数カ所に同一の誤字

誤 東室蘭(線)、釧路(線)、

正 東室蘭(操)、釧路(操)、

3. 第4部 LNG輸送の中のコンテナ形式

誤 UT24C形式 38000番代

正 UT26C形式 38100番代

4. 第5部 釧網線のC重油輸送コーナーの中のナレーション

誤 使用されたタンク車はタキ11000形やタキ17000形などで、いずれもタンク本体に高張力鋼を使用し、軽量化が図られています。

正 タンク車にはタキ11000形式やタキ17000形式の他に、たった1両の在籍でしたがタキ20000形式も使用されていました。これら3形式のタンク車には、いずれもタンク本体に高張力鋼が使用されて、軽量化が図られました。

【DVD「北海道編」の発売時点と比較した現況解説】

【第1部】

- 4097**レ・・・現在 **3083**レとして、東海道～東北線経由で運転されています。
- 現在ではほとんど姿を見ることができないコンテナは以下の通り
C35,C36,18D,V18B,V18C,W18D など、国鉄から継承されたコンテナや JR 貨物 18 シリーズ(水色&クリーム色)コンテナは、老朽化のため用途廃止となりました。
- 札幌タで入換中の映像に、ヤンマーの UF15A,UF16A などが確認されますが、同社がリース業から撤退したため、現存しません。なお、使用されていたコンテナの一部は、日本通運、北海道通運、丸和通運、高知通運などに引き継がれて塗装変更され、現在も使用されています。

【第2部】

- 旧 **2059**レ・・・現在 **3067**レとなって運転中。コキ 250000 形式で組成された列車でしたが、コキ 250000 はそのほとんどがすでに廃車となったため、コキ 250000 のみで組成された貨物列車は消滅しています。
- 日本における最長距離運転列車として有名な **3099**レ・・・
現在は青森(信)を通り、一旦東青森駅まで運転された後に、折り返して札幌タに向かう経路となったため、東青森～札幌タ間の列車番号は **99**レとなりました。
- 旧 **4092**レ・・・現在 **3082**レとなって運転中。東北～東海道経由。
五稜郭駅(JR 貨物：現函館貨物駅)での連結作業は継続されています。
五稜郭貨物駅(現函館貨物駅)で、入換中のコキ車に積載された函館運送 UR1 形式コンテナは老朽化で用途廃止されたため、現在は見ることはできません。
- 旧 **4098**レ・・・現在、該当する列車番号を有する列車は存在しません。
王子製紙からの紙製品を関西方面へ輸送する JR 貨物のコンテナは、現在の **3082**レに連結されています。
- 旧 **5263**レ・・・廃止されました。2008年3月12日が最終運転日でした。
- 旧 **5371**レ・・・2012年3月改正で臨時貨物列車となり、2012年5月輸送廃止。
- 旧 **3056**レ・・・廃止。当時は途中の萩野で連結解放がありましたが、2008年3月改正でチップ輸送が廃止され、日本製紙白老工場内の専用線も廃止されたため、萩野で連結解放するコンテナ列車は現存しません。
- 旧 **94**レ・・・東日本大震災による常磐線不通のため東北線迂回となりましたが、2012年3月改正から奥羽～羽越～信越～上越～高崎線経由で運転されています。

【第3部】

○士幌臨

2011年度は、奥羽～羽越～信越～上越～高崎線経由で運転されました。

DVD 関東・甲信越編に一部の列車を収録しています。

2012年度は、帯広貨-9078 レ-東室蘭操-8052 レ-大宮操-9077 レ-熊谷タと東北線経由に戻されました。

○シキ 810

すでに廃車されました。シキ 801 へ部品が提供されたようです。

○社名変更

新日本石油室蘭製油所は、J X日鉱日石エネルギー室蘭製油所となっています。

○道内石油輸送列車とタンク車の動向

本輪西を発着するタンカートレインで、現在残存しているのは札幌タ行のみで、列車はすべて臨時貨物列車となり、2012年5月をもって、北旭川と帯広貨物向けの石油輸送は廃止されました。また、タンク車については

タキ 40000 形式は、14両が陣屋町駅からミャンマーへ輸出されました。

タキ 38000 形式とタキ 11000 形式は全車廃車となりました。

タキ 43000,44000,243000 の各形式については、ほとんどが転属となり、浜五井（京葉臨海鉄道）、東港（神奈川臨海鉄道）へ回送されました。

北旭川 2012年5月で石油輸送は廃止されました。

十勝鉄道 2012年5月で営業廃止となり、コンテナ輸送も終了しています。

【第4部】

○LNG 輸送は、拡大されています。

輸送区間：苫小牧～北旭川/苫小牧～帯広貨物。

新富士(現：釧路タ)までの輸送は、当初、白糠の工場向けでした。

○石勝線

5471 レ・・・2012年3月改正で臨時貨物列車となり、同年5月輸送廃止。

2091 レ・・・現在は 2093 レとして運転されています。

2095 レ・・・現在は札幌タ→新富士間の列車

○室蘭線

5371 レ・・・2012年3月改正で臨時貨物列車となり、同年5月輸送廃止。

8075 レ・・・現在この列車は運転されておらず、石北線内での貨物列車同士の交換もみられません。

※ 石北臨貨：現在は下り 8071 レ、上り 8074 レの一往復のみの運転。